

特別寄稿

～宮田元顧問を偲ぶ～

一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会
会長 金子和己

永年、顧問としてお世話になった宮田守夫元顧問が、平成23年8月9日（享年85歳）にご逝去されました。

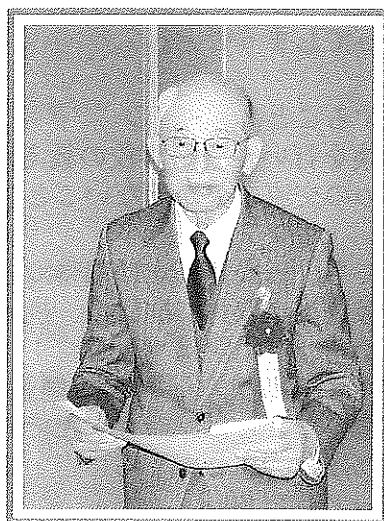
私と宮田先生との出会いは、埼玉県設備事務所協会（現・一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会の前身）設立時（昭和54年）からで、設立時より顧問として当協会に深く関与していただいております。設立総会は浦和市（現さいたま市）にて、宮田先生はじめ、関連団体の方々にお越し願ひ、盛大に執り行った事を思い出します。

当協会にとっては生みの親ともいえる存在の方で、顧問になっていただいたいきさつは、建築設備設計に深いご理解を賜っていたことと、先生がスポーツ少年団をはじめ、スポーツ界に貢献していた時、たまたま当協会の初代会長を拝命した故金子正喜（私の父）が、スポーツを通して懇意にされていた経緯からと聞き及んでいます。

先生はゴルフが大変お好きで、埼玉県ゴルフ協会の会長も歴任され、当協会のゴルフコンペには必ず参加をしていただき、コンペを大いに盛り上げていただきました。

人懐こい笑顔と、優しい語り口で、先生亡き今でも時に“おい、金子君”と呼ばれるのではないかと、ふっと思えます。今ごろ、初代会長故金子正喜、2代目会長故渡辺健治郎氏と、縁があれば遠い世界で、また一緒に飲んでゴルフ談義をしているのかも知れません。

心より宮田先生のご冥福をお祈り申し上げます。



協会30周年記念式典で
永年表彰を受賞される
在りし日の先生